

# せい ろう まち せ 聖籠町 議会だより

VOL.  
**112**  
平成27年10月30日発行

心ひとつにオーエス！オーエス！  
(亀代こども園)



第2回臨時会

新しい議会構成決まる

2～4ページ

平成26年度決算を認定

10～12ページ

9人が一般質問

14～23ページ

# 臨時議会 9月4日

## 新しい議会構成決まる

平成27年8月23日執行の聖籠町議会議員一般選挙は、立候補の届出が議員定数14人を超えなかったため、届出した全員が当選となりました。9月4日に初議会（第2回臨時会）が開かれ、

正・副議長選挙、3常任委員、議会運営委員などの選任を行いました。

また、一部事務組合等の議員の選挙も行いました。

## 議長に須貝龍夫議員 副議長は小林政栄議員



小林政栄副議長



須貝龍夫議長

改選後の臨時議会で、議長、副議長の選挙が行われました。

投票前の本会議休憩中には、申し出のあった議長候補、副議長候補それぞれ2人が、議会運営や議会改革について所信を表明しました。

投票の結果、議長に須貝龍夫議員、副議長は小林政栄議員が当選しました。聖籠町議会の代表とし

て、活躍が期待されます。

### 議長選挙結果

須貝 龍夫議員	8票
小川益一郎議員	5票
無効	1票

### 副議長選挙結果

小林 政栄議員	8票
五十嵐利栄議員	6票

## 議長就任のごあいさつ

須貝 龍夫

このたび、町議会議員選挙後の臨時会で、議員の皆さまから推選され議長に選任いただきました。

8月の改選では、無投票にはなりましたが、町民全体の代表者で構成している議会であり、議会の長として執行機関に対し、行政の監視はもちろん町民が、安全で安心して暮らせる町づくりを努めていかなければならないと思っております。

今までは、議員が個々の活動として地域の声を町に要請してきましたが、今後は、議会全体の活動として地域に入り、議会の説明責任と地域の要請に対応してまいりたいと考えております。

また、議会の権威と秩序の保持に努め、公平、中立な立場で、議員一人一人が議論を尽くし、町民に身近で分かりやすい議会と評価される開かれた議会運営に努めていきたいと思っております。

町民皆さまの、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。ごあいさついたします。

# 新議員の顔ぶれ



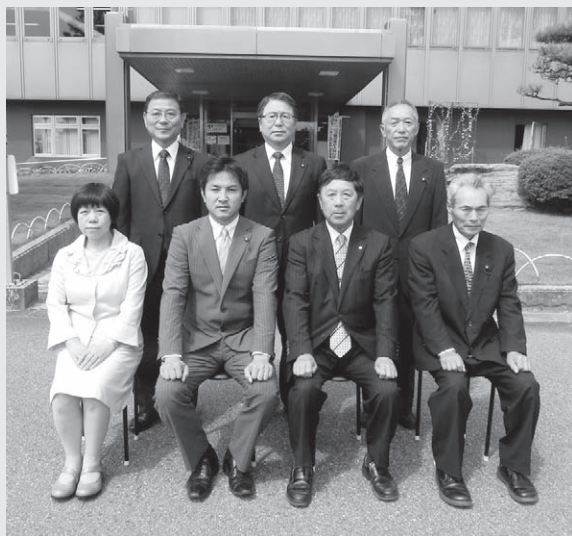
小林 政栄副議長 須貝 龍夫議長

小川益一郎議員 中村恵美子議員 五十嵐利栄議員 宮沢 光子議員 田村富美男議員 高松 守雄議員  
宮沢さやか議員 小川 勝也議員 長谷川六男議員 渡辺 豊議員 青木 順議員 田中 智之議員

## 厚生産業常任委員会

町民課、保健福祉課、産業観光課、ふるさと整備課、東港振興室、上下水道課および農業委員会の所管に関する事務の調査ならびに議案、請願、陳情等の審査を行います。

(任期4年)



長谷川六男 高松守雄 渡辺 豊  
中村恵美子 ◎青木 順 ○五十嵐利栄 小林政栄

## 総務文教常任委員会

議会事務局、総務課、税務財政課、納税対策室、生活環境課、会計室、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員および固定資産評価審査委員会の所管に関する事務の調査ならびに議案、請願、陳情等の審査を行います。(任期4年)



田村富美男 宮沢光子 小川勝也  
小川益一郎 ◎田中智之 ○宮沢さやか 須貝龍夫

(敬称略 ◎委員長 ○副委員長)

## 議会運営委員会

議案等、議会の運営、議会の会議規則、委員会条例、議長の諮問事項などについて調査します。

(任期 4 年)



中村恵美子 小川益一郎 長谷川六男  
小林政栄 ◎田村富美男 ○五十嵐利栄 須貝龍夫

## 広報広聴常任委員会

定例会を中心に、年 4 回議会だよりを発行し、議会と町民のパイプ役としての役割を果たします。

(任期 4 年)



長谷川六男 宮沢さやか 須貝龍夫  
中村恵美子 ◎宮沢光子 ○小川勝也 渡辺 豊

(敬称略 ◎委員長 ○副委員長)

## 一部事務組合等の議員を選任

### ○新発田地域広域事務組合

須貝 龍夫議員 宮沢 光子議員

### ○豊栄郷清掃施設処理組合

五十嵐利栄議員 田中 智之議員

### ○新潟東港地域水道用水供給企業団

小川益一郎議員 高松 守雄議員

### ○新潟県後期高齢者医療広域連合

青木 順議員

### ○新発田市・聖籠町議員協議会

小林 政栄議員 小川益一郎議員  
高松 守雄議員 渡辺 豊議員  
小川 勝也議員

# マイナンバー 通知が始まる

## 9月定例会

平成27年第3回定例会は9月10日から29日までの20日間の会期で開かれました。  
町長から行政報告があり、聖籠町個人情報保護条例の一部改正、聖籠町介護保険条例の一部改正、平成26年度決算の認定など、21議案を慎重に審議し、全て可決しました。

また、教育委員会委員の任命、議会からの監査委員の選任については、賛成多数で同意しました。  
一般質問では、9人の議員が町議会議員選挙、国民健康保険、エコバス、地域活性化など町政全般について、2日間にわたり問いました。

平成25年5月31日に公布された「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が平成27年10月5日から施行されます。

同法施行日以降、個人番号の通知が開始され、地方公共団体においても個人番号（マイナンバー）および特定個人情報を取り扱いますので、聖籠町個人情報保護条例の一部改正をしました。

### 主な質疑

マイナンバーとは何か

中村恵美子議員

保有

特定個人情報の開示につ

いて、パソコンを使うマイナンバーが利用できるということだが、マイナンバーとは何か。パソコンが使えない住民に対する手だてをどうするのか。マイナンバーが付くことで、自治体として個人情報の取り扱いが適切かどうか、今まで以上に問われるが大丈夫か。

自分の情報を自分で確認ができること

総務課長

マイナンバー

タルとは、行政機関が保有する自分に関する情報等がどこに使われたのか、パソコンで確認ができるものである。パソコンのない住民に対する手だては、国としては役場等に設置を考えている。個人

情報の管理は、町としても今まで以上に厳しくしたい。

財務省の案は大問題である

五十嵐利栄議員

先般、

消費税が10%になった時に合わせ、住民が食品購

入等に個人番号カードを使ったとき、消費税が還付されるといふ財務省案が出た。仮に、この案が実現したら、カードの紛失や情報漏えい等につながり大変なことになる。

この案について、国から地方自治体に問い合わせ

試算だけと捉えている

町長

消費税の還付に

ついて、現政府として財務省に試算をさせただけと理解をしている。試算が具体的になるとは思わないが、仮に、国の政策として示された時は、町として、住民に理解を求めていくしかないと思う。

役場内での担当するの

小川益一郎議員

国民

一人一人に付ける12桁の個人番号は、誰がどのような形で付けるのか。個人番号カードを申請しない、もしくは申請したくともできない人はどうな



▲個人情報の管理を厳重に

### 町民課が実質的な管理をする

るのか。役場内で個人番号の管理はこの課でするのか。

町民課長

番号には、都道府県、市町村等も加味されるとは思うが、全市町村が地方公共団体情報システム機構（J-LIS）に事務委任をして、国民一人一人に番号を付けることになっている。10月5日から番号付け



▲新手の詐欺にご用心

が始まり、番号の通知カードが順次送付される。およそ1カ月から1カ月半かかると思われる。通知されてから、希望する人は同封の申請書をJ-LISに送り返し、個人番号カードを作ることができる。カードの申請をせず番号通知カードのままでいる人も当面はいると承知している。

個人番号の管理は事務的にはJ-LISに業務委託をするが、役場内

### 住民説明会はするの

の実質的な管理は町民課である。

青木順議員

今後、個人番号カードを使うことで便利になることは理解している。しかし、便利になればなるほど使っているうちに、新手の詐欺などに住民が巻き込まれやすくなる。事前に住民説明会などをすべきと考えるが、説明会をするの

### 町の広報で周知をする

町民課長

住民への説明会は予定していない。しかし、番号通知や個人番号カードの申請について、町の広報10月号から連続で詳しく周知をする。通知を受けた後、説明を求める住民には、電話や窓口できめ細かく対応したい。

## 教育委員に高崎美由貴さん(新任)



たかさき みゆき 高崎美由貴さん (亀塚)

教育委員会委員の渡邊あや子さんが平成27年9月30日で任期満了になることから、後任に高崎美由貴さんの任命を無記名投票によって全会一致で同意しました。

## 議会選任の監査委員に高松守雄さん



たかまつ もりお 高松守雄さん (亀塚)

議会議員から選任した監査委員の櫻井怜さんが平成27年8月31日で任期満了になることから、後任に高松守雄さんの選任を起立採決によって、賛成多数(賛成7反対5)で同意しました。

### 主な質疑

#### どういう基準で選んだのか

小川益一郎議員

議員の中から選ぶ監査委員なのだが、どういう基準で選んだのか。新議会の中

では、議長・副議長、常任委員会委員長などが、聖和会という議員のグループの中で占められている。公平性を考えられなかったのか。 については、町長が関与するものではない。監査委員の選任は、私の専任事項である。諸般の事情を考え、適正だと判断した。

#### 公平公正な立場で提案

町長

議会の中の人事

### ●定住自立圏推進協議会を設置

### ●第4次聖籠町総合計画 後期基本計画の策定

### ●消防団第4分団県大会で優勝

## 行政報告



わたなべ 渡邊町長

▼8月21日に、新発田市、胎内市と定住自立圏推進協議会を立ち上げ、今後の進め方や中心市宣言書(案)、想定される連携分野等について協議しました。今後は9月25日に、新発田市の二階堂市長が、圏域における中心的な役割を担うこと等を明らかにし、対外的に公表する、いわゆる「中心市宣言」を行うことになっていきます。

▼「第4次総合計画・後期基本計画」の策定については、7月13日に第1回目の審議会を開催し、24人の委員を委嘱し、諮問したところです。現在三つの部会に分かれて行政分野ごとに計画内容を審議いただいています。

人口ビジョンおよび総合戦略の策定については、「産・官・学・金・労・言」によるおおむね20人程度の委員を選任し、今月下旬には、第1回目の会議を開催したいと考えています。

▼国保診療所は6月22日より月曜日から木曜日までの半日と途中からは、金曜日は午後4時まで関係機関のご理解とご協力をいただき、派遣医師4人により休診することなく診療を行っています。半日で約40人の患者さんが受診されています。

▼第66回新潟県消防大会ポンプ操法競技大会で、次第浜集落第4分団第6班が聖籠町のポンプ車操法として、6年ぶりの出場で見事に優勝することができました。

▼聖籠町地域活性化対策事業は、事業費1億5千万円に対し、1億5510万円、1186世帯から申し込みをいただきました。購入されない人がいたので追加販売させていただきました。

## みなさんの 請願・陳情

第3回定例会では地域住民より直接の声となります請願1件を審査し、全会一致で採択しました。

### 採択した請願

◎「学費と教育条件の公私間格差是正にむけ、私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する請願

〔提出者〕 新潟県私学の公費助成をすすめる会 会長 中村 直美  
〔紹介議員〕 小林 政栄・高松 守雄

### 意見書を国・県に提出

第3回定例会で2件の意見書が提出され、全会一致で可決されました。可決された意見書は、国・県の関係機関に提出し、実現するよう要請しました。

◎学費と教育条件の公私間格差是正にむけ、私学助成の増額・拡充を求める意見書(国あて)

◎学費と教育条件の公私間格差是正にむけ、私学助成の増額・拡充を求める意見書(県あて)

### 自治功労者に対し全国町村議会議長会より感謝状



須貝 龍夫議長

全国豪雪地帯町村議会議長会会長として、地方自治の振興と発展に寄与された功績に対し、全国町村議会議長会から須貝龍夫議長に感謝状が授与されました。

# 一般会計補正予算

## 主な歳入

- 地球温暖化防止緑づくり補助金 45万円
- 新潟県町村会「町イチ・村イチ」助成金 50万円

## 主な歳出

- 山倉児童クラブ建設工事（外構） 660万円
- 道路整備業務委託料 467万円
- 道路改良工事 373万円

平成27年度一般会計補正予算は、既定予算に歳入歳出それぞれ3935万円を追加し、総額70億8662万円と定める予算を全会一致で可決しました。

主な質疑は、報償費の表彰規定、図書館の看板、新潟港クルーズ客船受入セミナーなどについて行われました。

### 主な質疑

#### 表彰授与の決め方は

五十嵐利栄議員 今回の報償費17万円は、消防団、女子サッカーチームに授与される。全国高校総体で活躍したフェンシングの高校生は、対象にされないのか。

#### 表彰規定に基づいて

総務課長 町の表彰規定に基づいて、表彰を行っている。全国高校総体で活躍した高校生については、秋の表彰の時に予定している。

#### 国勢調査員報酬の基準は

中村恵美子議員 当初予算より調査員報酬17万4千円増えているが、基準はどうなっているのか。

#### 受け持つ世帯数による

総務課長 調査員は53人で経験者は120世帯から、未経験者は30世帯と幅がある。報酬は受け持つ世帯数による。



▲練習を重ね先輩につづけ



### 図書館の看板無駄遣いでないか

〔小川益一郎議員〕 図書館の看板が目立たないため、今回また、新しい看板にするというが、無駄遣いをしているのではないか。

〔町長〕 最初の看板は、いろいろな角度から検討した結果である。今までの看板は、敷地内に移動するので、無駄遣いにならない。

### 無駄遣いではない

〔五十嵐利栄議員〕 山倉児童クラブは交通公園の所に建てる。交通公園がなくなるが今後、交通安全教育はどうなるのか。

### 交通安全教育はどうなるか

〔子ども教育課長〕 交通安全教育は他の小学校でも行っているが、町の交

### 町の交通指導員が行う

通指導員が器具を使い、交通安全指導を行う。

通指導員が器具を使い、交通安全指導を行う。

### 新潟港クルーズ客船セミナーは

〔宮沢光子議員〕 新潟港クルーズ客船受入セミナーは、すぐに開かれるのか。内容はどのようなのか。

〔東港振興室長〕 クルーズ客船受入セミナーは3月、2月で県、新潟市と協議をして決める。入港することになれば、受入態勢や歓迎式典なども考える。

### クルーズセミナーは3回

〔中村恵美子議員〕 国道113号線にある交通安全の看板1基で300万円である。高いのではないか。

〔生活環境課長〕 腐食しやすい部分を強化し、風圧計算などに基づき、基礎部分を強化したものに

〔委員は決定したのか〕

### 交通安全の看板高いのではないか

〔委員は決定したのか〕

〔産業観光課長〕 委員は5人以内で氏名は白紙である。学識経験者も決まっていない。委員会は今年度は3回行う。

### 白紙である

委員は決まっているのか。委員会は何回行うのか。

〔委員は決定したのか〕



▲図書館大好きな子どもたち

〔宮沢光子議員〕 小規模企業振興基本計画の策定



▲経済効果が期待される新潟東港

# 前年度の予算執行状況を厳しくチェック

平成26年度一般会計・4特別会計の歳入歳出決算、および下水道事業会計・水道事業会計決算の7議案は、議長を除く13議員で構成された決算審査特別委員会に付託され9月17日・24日・25日・28日の4日間にわたって審査されました。委員長に五十嵐利栄議員、副委員長に小川勝也議員を選任し、町長および町執行部の出席を求め慎重に審査し、27項目の意見を付けた上で全会計を認定、本会議においても委員長報告通り全会一致で認定しました。

長に小川勝也議員を選任し、町長および町執行部の出席を求め慎重に審査し、27項目の意見を付けた上で全会計を認定、本会議においても委員長報告通り全会一致で認定しました。

## 一般会計決算

▼平成26年度決算は、歳入総額81億3103万円、歳出総額78億2904万円、歳入比13・7%増、決算比較で、9億4367万円の増。繰越明許費1967万円を差し引いた実質収支は2億8231万円の黒字決算となった。

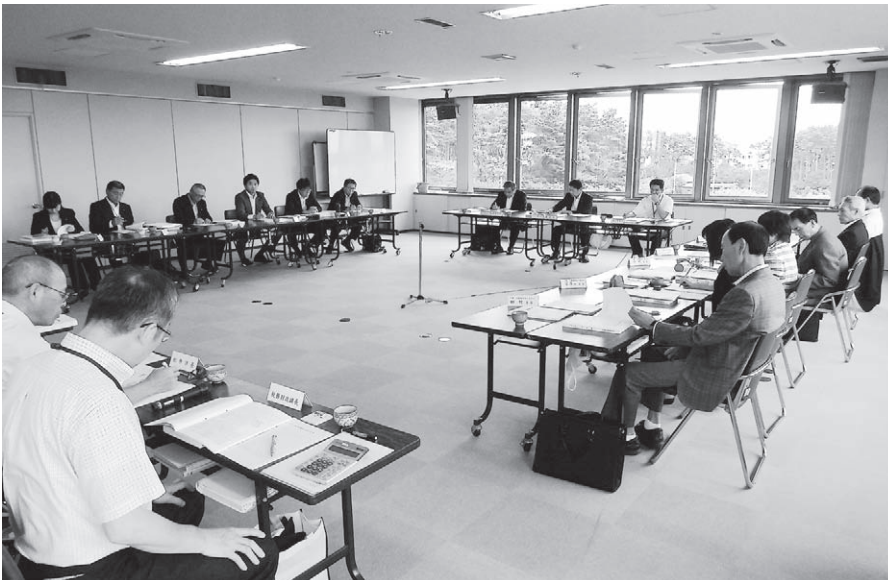
▼平成26年度決算は、歳入総額81億3103万円、歳出総額78億2904万円、歳入比13・7%増、決算比較で、9億4367万円の増。繰越明許費1967万円を差し引いた実質収支は2億8231万円の黒字決算となった。

主な歳入のうち町税は47億1567万円の決算となり、前年度決算対比0・9%、4435万円の増となった。固定資産税は、償却資

産減価償却等により7291万円減少したものの、法人町民税が収益増加等により1億1670万円増加した。

歳出については、図書館建設で繰越明許費9億558万円を含む事業費で昨年6月に開館。防災施策では中央防災倉庫を建設した。

当面、町の財政は好転する要素が見当たらない。限られた予算で、町民の福祉向上や安全な町づくりを目標に堅実な町政運営を望む。



▲厳しくチェック決算委員会

## 特別会計決算

▼国民健康保険税収入は2億9019万円、前年度比5・8%の減。現年度分の収納率は前年度比0・54ポイント高い95・34%だった。滞納繰越分は46・02%と前年度比10・83ポイント低くなった。過年度分の滞納整理は頭打ちの状況であるが、現年度分は、取り組みの成果が収納率の上昇につながっている。

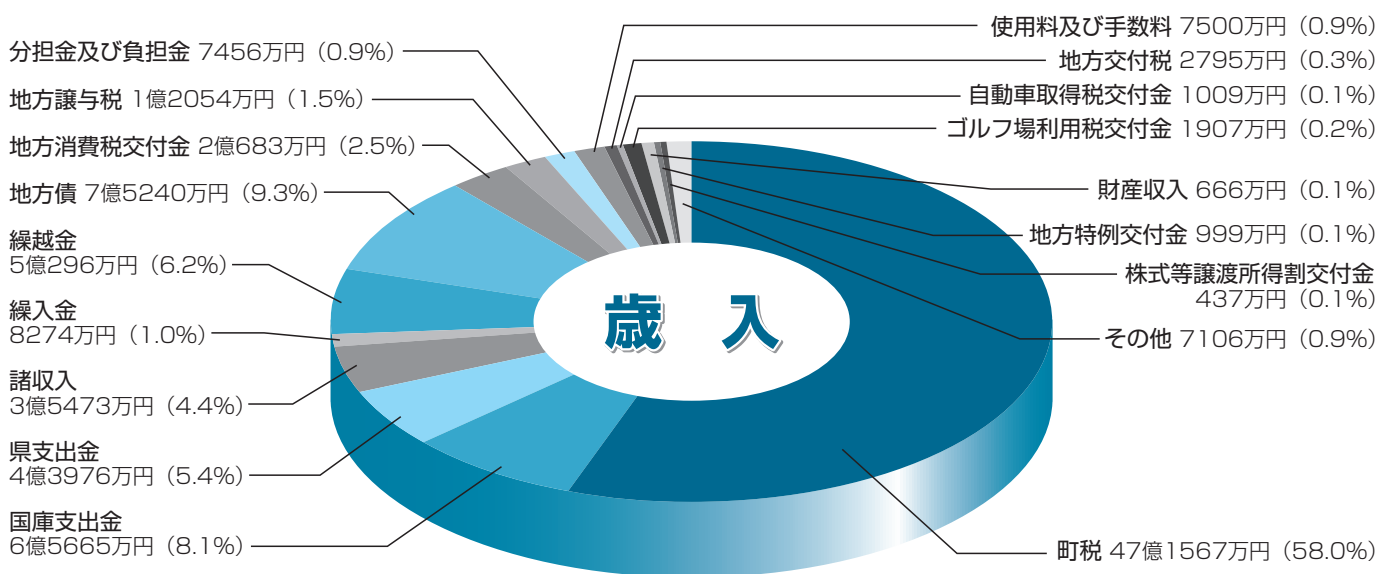
▼水道事業は、水道施設の老朽化や生活スタイルの変化等により、取り巻く環境が厳しさを増している。今後も、地域の需要と設備の更新状況を十分に検討の上、健全な事業運営を望む。

▼介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、新潟県営開拓パイロット事業聖籠町特別会計についても認定した。

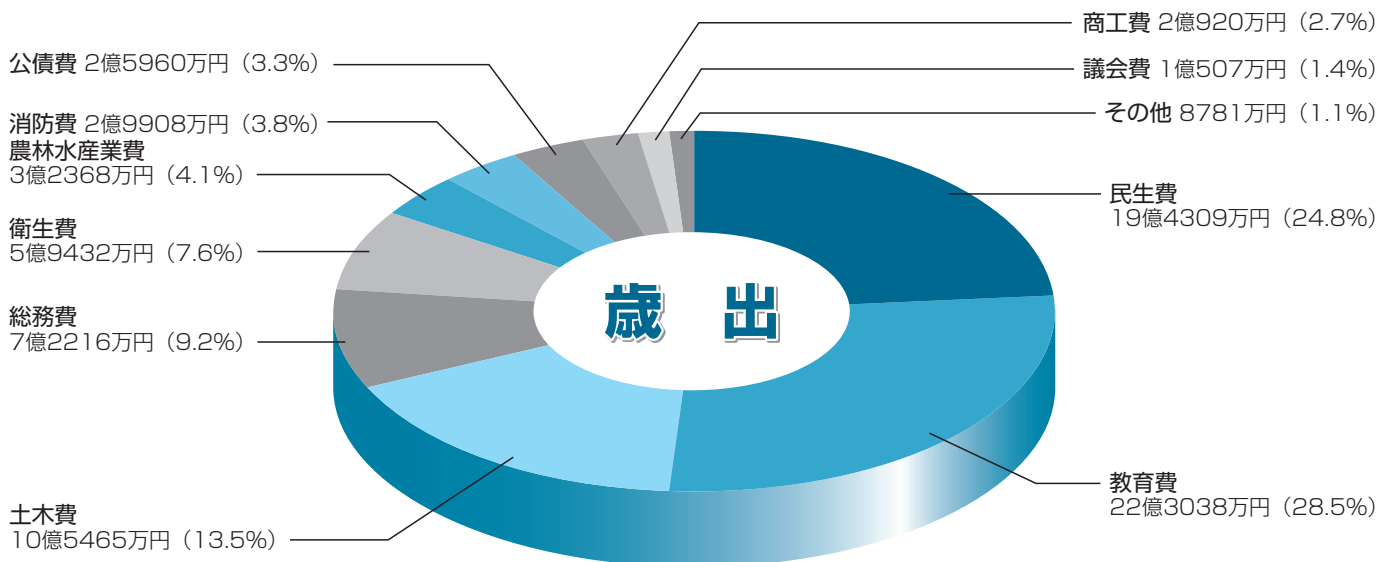
# 歳入増と事業再考で 健全財政を

## 平成26年度 一般会計決算

### 歳入 81億3103万円



### 歳出 78億2904万円



# 決算審査委員会での意見・要望

## 歳入

### 滞納解消

前年より滞納は減っているが、今後も納税の公平性にさらに努力されたい。

### ふるさと納税

本町においても、地域振興の一環として特産品を活用し積極的に進めるよう、努められたい。

### 企業誘致

東港区域内の企業誘致に努め、新たな固定資産税確保に努力されたい。

### 未納解消

育英資金や給食費および東山団地の使用料の未納解消を望む。

## 歳出

### 町営事業健全化

生ごみ事業搬出量の確保に向け工夫されたい。ふれあい農園の利用率向上に向け検討を。交流館「杜」運営方法の費用対効果を検討されたい。東山団地空き室の増加防止、対応策の検討を要望する。

## 学力向上

学習クラブは学力向上に欠かせない事業であるが、指導者の確保が課題となっている。今後も事業継続のため、課題の解決に向けた運営方法の検討をされたい。中学校の情報機器の内容を精査し、機器更新に当たっては適正な経費で行うよう検討されたい。



▲利用者の増加に向けた取り組みを

### 図書館

図書館開館時間、開館日数の増加に向けた取り組みを求む。

### 交流事業

小・中学校のハルビン市教育委員会との交流事業は参加者の減少がみられる。事業の継続または終了を視野に検討されたい。

小・中学生の国際交流事業については、英語圏

### 福祉の充実

この事業も検討されたい。民生委員が長い間、欠員となっているが、欠員解消を望む。なごみの家の利用希望が増えているので、運営拡大を望む。老人クラブの組織衰退防止等の対応策検討を望む。

### 文化会館 自主事業

自主事業について、さらに町民の要望にこたえられるよう努力されたい。



▲「なごみの家」の利用拡大を

# 第1回臨時会

## 7月14日

平成27年第1回臨時会が7月14日、1日間の会期で開催されました。1460万円を追加し、予算の総額を70億4727万円と定める補正予算が上程され可決しました。

### 主な歳出

●町税還付金 1200万円

●県消防大会出場経費（報償費、旅費等）

227万円

（質疑なし）



▲日頃の訓練が実を結ぶ競技大会

## 読者の声



すがい わたる 須貝 渉 さん  
(網代浜)

### 図書館で聞いた話

今年の6月14日に、

した。

聖籠町立図書館1周年記念講座「古文書から江戸時代の聖籠を垣間見る」を受講しました。

会場は満員で、椎谷

良平先生の興味深いお話に引き込まれました。

お話の冒頭で「聖籠

町のイメージキャラクターター緑丸くんのモチーフは何か？」というくだりで、実は鳥のタカ

であると。私は初めて聞くお話でびっくり。

数百年前の聖籠町は聖籠山であったと。將軍

様にタカを献上するほど、名物、今風に言う

と特産品が鳥のタカで

となると相当数のタカが生息していたと考

えられますし、タカの食料となる動物もさらに大量にここ聖籠町に

生きていたのでしょう。想像するとわくわくして

きました。

そんなこともあり希少動物について知りた

くなったので、先日図書館に行つてNHK

「ホットスポット 最後の楽園」という本を借りてきました。

その中でニュージールランドの極めて珍しい動物、飛ぶことをやめた鳥について読み進め

ると、飛ばない鳥で最大のモアは人間の乱獲

で絶滅したそうです。そしてモアを食料に

していたオオタカ類も続いて絶滅してしまつた

とのことでした。

なるほどそういうことかと納得。タカの話

を聞いて希少動物を調べたら、またタカに戻ってしまいました。

このように知的好奇心を刺激してくれる聖籠町立図書館が大好き

です。今後も講座などがあれば、ぜひ参加したいと思っています。

ズバリ  
直言!!

# 一般質問 町政を問う

- 9月議会では、9議員から町政を問う一般質問がありました。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。
- 一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長等に疑問点をたずねるものです。
- 全文は会議録として、11月末に町ホームページに掲載される予定です。

## 9議員が質問

宮沢 光子 議員

- 1 新議会に何を望む
- 2 急げ主権者教育の充実
- 3 どう考えるポイント制度

P15

中村 恵美子 議員

- 1 一世帯1万の引き下げを
- 2 小規模業者の意見反映を
- 3 医療費助成を高卒までに

P16

小川 勝也 議員

- 1 図書館のソフト充実を
- 2 エコバス運用方針は
- 3 宅地造成は進んでいるか  
その他の質問（1問）

P17

長谷川 六男 議員

- 1 計画道路・歩道整備は進んでいるか
- 2 自転車通学のマナー向上は

P18

五十嵐 利栄 議員

- 1 どう取り組むか地域活性化
- 2 無投票選挙どう受け止める

P19

小川 益一郎 議員

- 1 町議会選無投票への所見は  
(仮称) 桜記念会館の建設とは
- 2

P20

渡辺 豊 議員

- 1 いざ!という時の対応は大丈夫か
- 2 診療所の現状は

P21

田中 智之 議員

- 1 地方版総合戦略の進捗状況は
- 2 無投票という選挙結果への対策は

P22

青木 順 議員

- 1 スポーツ功労者支援拡充せよ
- 2 今後の町の展望は
- 3 無投票阻止に向けて

P23

# 新議会に何を望む

## 町長 透明性ある開かれた議会

**問** ここ数年、議員の改選があるたびに町長自ら、立候補者の擁立に動き、町民から何か変だと言われているが、町長は政治家だから何ら問題はない。しかし、新体制になった議会に対し、町長の対応が擁立した議員寄りになるのであれば、町長の評判に関わる。

**町長** 政策提案や議会の運営の改革や活性化など、透明性のある開かれた議会を期待したい。町民の負託にこたえるべく、現職、新人を問わず議会人としての資質向上を図ることも肝要だと思う。

車の両輪に例えられる議会に対して、町長は何を望んでいるか。

**選挙管理委員長** 啓発活動は、広報紙での啓発、町の各行事でのティッシュ配りであったが、今後、他に何ができるかを検討する。無投票の周知は防

が、選挙管理委員会は、有権者への選挙啓発活動や無投票だった時の対応策などを議論していたか。

**町長** 政策提案や議会の運営の改革や活性化など、透明性のある開かれた議会を期待したい。町民の負託にこたえるべく、現職、新人を問わず議会人としての資質向上を図ることも肝要だと思う。

災無縁を使ったが、完全に周知できなかった。今後、仮に無投票の時は、集落区長を通じ緊急チラシの配布も考える。

## 急げ主権者教育の充実

### 町長 社会教育の一環として考える



▲しっかり学ぼう！選挙のこと

## どう考えるポイント制度

### 町長 前向きに検討したい

**問** 65歳以上の人が介護施設などでボランティアをするとポイントが交付される事業が全国で広がっている。聖籠町に導入する考えはあるか。

**町長** 有意義な制度であるが町の実態を考え、前向きに検討したい。

**問** 選挙権の年齢が18歳以上に引き下げられる。

国は高校生等を対象に主権者教育を急ぎ、予算対応もする。主権者教育を、子どもから大人まで網羅する社会教育の場

考えることができないか。数年前、学校側からの提案で「子ども議会」が開催された。一過性で終わるのではなく「子ども議会」を主権者教育の一環として考えられないか。

**町長** 町の小・中学生に対する主権者教育は、国・県の動きを見て、教

育委員会に主体的に考えてもらう。他の年代については、社会教育の一環として位置付け、学びの場を設定したい。

**教育長** 平成25年度に「子ども議会」を行い、高評価をもらった。今後、主権者教育の一つとして検討したい。



宮沢 光子議員

# 一世帯1万の引き下げを

## 町長 財政調整基金は貴重なもの



中村 恵美子議員

**問** ①国民健康保険は県内5番目の高さである。町民アンケートでは、「昨年からは毎日生活に直接響いている。国保税、介護保険の負担を軽減してほしい。」という声が寄せられている。

この声をしっかり受け止め、財政調整基金を使い、一世帯1万円の引き下げを行うべきでないか。

②介護保険料は県内1番目の高さである。「私は年金暮らしである。介護料4千円、どうしてこんなに高いのか分からない。まず先に、この問題を解決してほしい。」という町民の切実な声を受け止め、対策を行うべきでないか。

**町長** ①財政調整基金は、一般会計予算に生ずる財源の不均衡を調整する役割があり、多額の経費の支出や不足の事態に対応しなければならぬ。

②平成27年度の介護保険法の改正で、低所得者の保険料軽減や、6段階区分から9段階区分となった。また、平成26年7月に特別養護老人ホームが開設になったことも含め、保険料を決めている。

**一口メモ**

※財政調整基金とは  
経済事情による財源の不足や、災害による緊急時等に使うための町の貯金。

**問** 3月に施行された「小規模企業振興基本条例」では基本計画が規定されている。小規模業者の意見反映すべきでないか。

## 町長 反映できるようにする 小規模業者の意見反映を

**町長** 小規模業者の意見反映できるようにする。



▲誠心誠意きれいな仕事

**問** 子どもの医療費助成を高校卒業まで実施しているのは県内10市町村である。そのうち、5市町村は下越である。高校卒業まで助成するかどうか。今度こそ、聖籠町も高校卒業まで助成すべきでないか。

**町長** 高校1年〜3年まで助成すると約780万円となる。拡大はしない。

## 医療費助成を高卒までに

### 町長 拡大はしない



# 図書館のソフト充実を

## 教育長 図書館の利用を促進する

**問** 図書館は本年6月で開館1年を迎えた。外構の整備も完了し、職員体制も充実したと思う。今後利用者増加に向けた施策をどう考えているか。

**教育長** 既に1周年のイベントで、蓮野小学校の5年生による「図書館朝市」等、町内の小・中学校との交流を行っている。今後も若い世代を含めた図書館利用促進につながる取り組みを実施する。



小川 勝也議員



▲楽しいことがいっぱいな図書館

# エコバス運用方針は

## 町長 さらに利便性を高める

**問** 近年、アパートや住宅の小規模宅地造成、旧役場庁舎跡の造成等が進んでいる。一方、で何らかの事情で管理不足により倒壊の恐れのある建物も見受けられる。今後の空き家対策も含めた宅地造成等の町の方針はどうか。

**町長** 今後は民間主導による宅地開発を供給バランスに配慮し、誘導していく。  
正庵地区、役場周辺、別條集落バイパス側等で、業者の意向があると聞いている。空き家については、65件くらいが調査中である。

# 宅地造成は進んでいるか

## 町長 民間主導で進める

**問** エコバス運用も12年たち、その間に運用方法、運転時間を改善し年々利用頻度が上がっている。町民にとってなくてはならないエコバスに成長した。現在の利用状況と今後の運用の見込みは。

**町長** 現状での利用状況は、高校生等の通学7割、高齢者の通院への利用が2割で年間利用者は延べ4万人を超える。今後バス利用者、懇談会や町政ポスト等の意見を反映しながら、より利便性の高い運行を目指す。

### その他の質問

**問** 今後の無競争防止に向けた対策は。

**選挙管理委員長** 無競争にはなったが、立候補された各位は、大志を持って立候補され、当選されたことに敬意を表す。無競争防止の対応策については、選挙管理委員会の職能、立场上、答弁は差し控える。

# 計画道路・歩道整備は進んでいるか

## 町長 用地測量から始めている



長谷川 六男議員

**問** 聖籠中学校統合により通学道路、歩道など、環境整備が進んでいる。その中で、中学校前から居浦山線の計画道路や吾沼集落にかけての道路と歩道整備の進捗状況はどうなっているか。

**町長** 中学校前から居浦山線の計画道路については、平成24年度に法線説明会を行い、同年度に路線測量、道路設計を実施した。

平成26年度に用地測量、住宅移転に係る物件調査を実施しており、今年度住宅以外の物件調査を予定している。住宅移転に係る物件補償費が多額になる。平成28年度に交付金事業として国、県に要

望し、物件補償および用地買収をお願いする予定にしている。早ければ28年度に財源との関係を見ながら、工事費等を計上する予定である。

吾沼集落の歩道整備については、今年度の10月に法線説明会を行い、併せて路線測量、道路設計を実施する予定である。工着手はなるべく早めに対応したいと思っている。今の予定では平成30年度から交付金事業要望により、計画的に進めていきたい。



▲しっかり止まろう 左右確認

## 自転車通学のマナー向上は

### 教育長 交通指導を強化している

**問** 中学生の自転車通学のマナーが悪い。並列走行や見通しの悪い一時停止場所の交差点で止まらずに走行している。われわれドライバーから見ると非常に怖いと思う。教育委員会は把握しているのか。

**教育長** 街頭指導などで見ると指摘のような並列走行等が見られる。非常に危険な場面では、その都度指導している。また、学校でも交通安全協会や警察等の協力を得て、交通安全教室を開催している。自転車乗車時の交通

法規の順守、交通事故防止について繰り返し指導を行っている。

# どう取り組むか地域活性化

## 町長 状況を見て判断する

**問** 厚生労働省は全国各地別最低賃金を引き上げる。新潟県は、現行715円を16円(2.2%)アップし、731円となる。

このことを踏まえて、

次の点について町の臨時職員や、第三セクター職員の賃金についての対応策を問う。

① 現行の賃金が生活保護費より低い職種はないか。特に働く日数が少ない5月や生活保護費に冬の冬季加算が付く12月〜1

月についてどうか。

② 最低賃金が731円にアップすると、町の臨時職員は7時間しか働けないので、職種により800円の単価の人は、最低賃金労働者(731円)が一日7時間45分働くと一日の賃金が安くなる。この際町の臨時職員賃金をアップする考えはないか。

③ 臨時職員の一日当たりの労働時間が正職員と同じ、7時間45分の自治体がある。労働基準監督署

も特に問題にしていない。町の臨時職員の労働時間も7時間45分にできないか。

④ 新発田市では非常勤職員に退職金も支給されている。町も退職手当を検討できないか。

⑤ 次に町正職員の給料表現行6級が最高級となっているが、7級までアップする考えはないか。

**町長** ① 生活保護費と単に比較はできない。適正な水準を確保している

と報告を受けている。

② 現在町の単価は用務職で750円、事務職で800円である。賃金については人事院勧告、近隣の職種別賃金、県の最低賃金などを参考として検討している。近隣の単価を下回っている職種もあり、今後検討する。

③ 職種に応じて業務に支障ないよう、必要時間を提示し双方合意で雇用している。

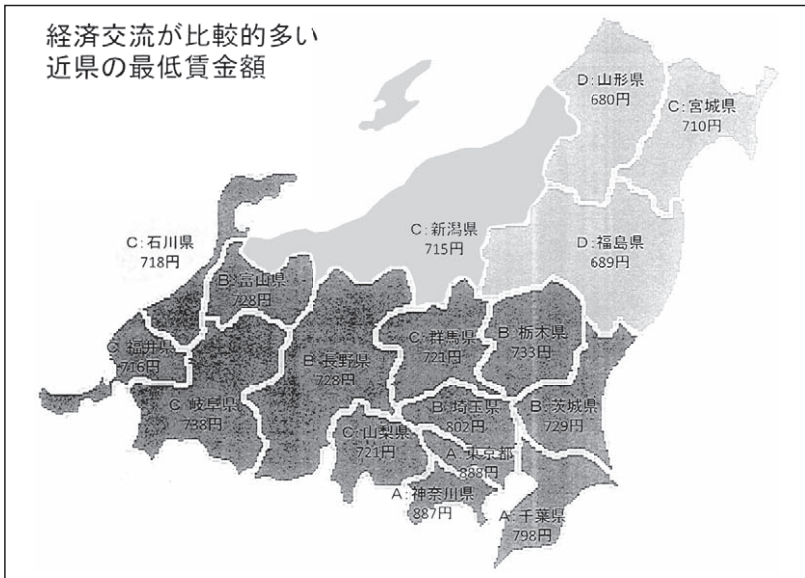
④ 退職手当の支給は考えていない。

⑤ 正職員の給料表6級を7級にすることは考えていない。



五十嵐 利栄議員

経済交流が比較的多い近隣の最低賃金額



▲賃金アップを図れ

**問** 8月実施の町議会議員選挙は60年の歴史で初の無投票選挙となった。「議員の存在感がなくなった」「大きな争点がなかった」「若い人にとって現報酬では生活が成り立たない」などその背景が議論されている。町長はどう受け止めているか。

**町長** 議会のことは誤解を受けかねないので答弁を控える。

## 無投票選挙どう受け止める

**町長** 議会のことは答弁を控える

# 町議会選無投票への所見は

## 町長 町長の立場ではコメントしない



小川 益一郎議員

**問** ① 聖籠町議会議員選挙は定数14人と同数の立候補者しかおらず、全員が無投票により当選となった。

聖籠町有史以来、初の無投票である。初の無投票になった背景などについて町長の所見は。

② 今回の町議選挙は無投票となった。

結果は尊重するが候補者の考えや、信条、町に対する思い、議員としての所信が町民、有権者に全く知らされなく残念である。

無投票であっても、町民に立候補者全員の選挙公報に準ずるものを配布できないか。

**町長** ① 無投票になった結果は結果であり、こ

れも町民の信託である。町長の立場からあえて不要なコメントは差し控える。

**選挙管理委員長** ② 無投票になった場合、候補者の考えや心情など町民に伝える機会がないという意見は、多くの有権者の声ではないかと、私自身も同感である。

選挙公報を発行する場合は公職選挙法に準じ、条例で定めれば発行することができるかと規定されているが、無投票の場合は、発行しないことになっている。



▲協議中の加治川公園付近

## (仮称)桜記念会館の建設とは

### 町長 今後協議を重ねる

**問** 町長は6月の全員協議会において、加治川治水記念公園付近に、加治川を愛する会、加治川さくらの里づくりの会、NPO法人加治川ネット21の3団体の要望を受け、

県・新発田市・聖籠町で(仮称)桜記念会館を建設する旨表明した。

①桜3団体の構成員は、何人か。

②県・市・町への要望はどのような議論で募集されて

れているのか。

③市(特に紫雲寺地区)・町で桜記念会館建設に強い要望があったのか。

④場所・面積・土地単価・建物面積・総工費はいくらか。

⑤土地取得や場所は決定済みと言われているが。

⑥建設後の維持管理、経費負担はどうする。

**町長** この事業は(仮称)加治川治水事業記念資料館整備構想という中で捉えているが、桜記念会館とは表現していない。

①何人が把握していない。

②それぞれの団体がどのように要望を集約しているかについても把握はしていない。

③土地を駐車場用地として施設の整備の候補として新発田市と協議した上で、新潟県知事に対して要望を行ってきた。

④現段階では構想中で決定はしていない。

⑤協力の是非について確認中である。

⑥県・新発田市と協議中である。

# 「ごぎょー」という時の対応は大丈夫か

## 町長 現在の対策で十分

**問** 地震、津波、洪水などの自然災害は激化してきている。

て、具体的に、効果的な手段を講じて、指導してほしい。

町としては、詳細なハザードマップを各戸に配布したので、あとはおの、自主的に対処してほしい、との意向のようだ。

東港工業地帯からの複合災害も視野に入れ、防災に関しては、近隣自治体の範となるべく体制を整備し活動すべきだ。

しかし、いざ！という時は、日頃から訓練していないと、うまく対処できないと思う。現在の訓練のやり方は、形式的に過ぎないか。防災無線での災害に対する注意喚起や、集落に担当する職員を決めて派遣するとかし

来年度から始まる、後期基本計画の中で、特に災害対策について見直しする事項はあるか。

**町長** 基本計画中の「安心できる暮らしの実現」は、現在、審議会で策定中である。ハザードマップの配布や、中央防災倉

庫の整備などで、安心安全な町に向け構想を図っているところだ。

しかし、海抜の低い杉谷内周辺や工業地帯に近い浜地区などは、それぞれにもっと掘り下げた対策を講じていかなばならない。

防災は、町に頼ってばかりでは駄目なので、自助、共助、公助が一体となって機能するようにしてほしい。まちなか防災

を自主的に取り組んでほしいが、担当職員を集落到張り付かせるなどは、不可能である。消防団にはその役割の一翼を担ってもらってもいい。

従って、後期計画の策定で、基本的に見直しも含め審議中である。



渡辺 豊議員



▲これから始まる後期計画

## 診療所の現状は

### 町長 10月から今までどおり

**問** 医師の突然の辞職に町民に不満と不安は大きい。今後どうなるのか。

**町長** 医師の都合で、変則的な開所となっていた。10月5日から開所できる見通しである。



▲町のかかりつけ 期待される診療所

# 地方版総合戦略の進捗状況は



田中 智之議員

## 町長 総務課を中心に進めている

**問** 政府は地方創生の一環として、全国の自治体に今年度中の地方版総合戦略の策定を求めており、市区町村の44%が10月までに策定予定だ。

また、戦略を策定する推進組織は、全国で80%の市区町村が整備済み、もしくは準備中である。

そんな中、本町における策定状況の情報がないか聞かせてほしい。町長は行政報告で、「産・官・学・金・労・言」による概ね20人の委員を選任し、9月下旬には戦略会議を開催したいと述べた。本町における地方版総合戦略の進捗状況と、戦略会議の設置状況、ビジョンの方向性は、また、まち・ひと・し

ごと創生本部事務局から提供されているリーサスを、どう活用している。

**町長** 総務課を中心に総合戦略の骨子案を作成中。人口ビジョンの現状分析はほぼ完了。戦略策定の参考資料として、町民アンケートを実施している。

総合戦略推進会議へは、「官」を除いた全分野で就

任の内諾を得た。12月議会で素案を示したい。

人口ビジョン策定に係る人口動向分析に関しては、国勢調査や県のデータ等を使ったため、リーサスは活用していない。



▲町の活性化を担う子どもたち

# 無投票という選挙結果への対策は

## 町長 「聖籠のまちづくり創生大学」事業で

**問** 8月の町会議員選挙は無投票だった。新聞等は立候補者不足の要因として、町村議員の報酬が都道府県議・市議に比べて極めて低いことや、議会活動における長い拘束時間等があると取り上げている。町長は新潟日報の取材に対し「議会には町政発展のため活発な議論を期待」とコメントしたが、それには無投票狙いや無投票阻止という大義のない候補者ではなく、本気で町を良くしたいという志を持った人材が14人そろふことが必要だ。

今後、そのような熱意を持った町民が立候補できるよう、町としてどのような対策をするのか。

**町長** 町会議員に立候補してもらう手段ではないが、社会教育の中での

若者の活性化や、政治経済・行政等の分野に興味を促す講座や教室を計画し意識付けるのも町の責務。

政治やまちづくりに無関心な若い世代に、さまざまな社会分野について学ぶ機会を与えるため、仮称「聖籠のまちづくり創生大学」事業を職員に指示している。

### 一口メモ

※リーサス（地域経済分析システム）とは

国が地方自治体の「地方版総合戦略」作成を支援するため、地域の産業構造や人口動態、人の流れなどの客観的データをマップ上で見やすく整理し、提供するシステム。一般の人も見ることができ、産業マップ、観光マップ、人口マップ、自治体比較マップの四つで構成されている。

# スポーツ功労者支援拡充せよ

## 町長 課題であると考える

**問** 町は、「芸術・スポーツ文化のまち」宣言をしている。町の名前を背負い、懸命に取り組む姿は、後輩やスポーツに取り組む者の大きな夢や目標につながっている。

スポーツにも本気で打ち込めるような環境をつくってもらいたい。

**町長** 町の子どもたちが日頃の練習の成果を発揮し優れた成績を収めている。応援体制については、基本的に本人、両親、

スポーツ功労者、団体にに対し、社会教育課やスポネットなどを通じ、激励金などがある中、人的な応援体制が整っていないと感じる。

学校指導者、競技団体など関係する方々の意向や要望を踏まえ、各種競技団体や町民の賛同を得られるよう応援体制を整えることが課題と考える。

勝ち抜いて大舞台に立てば立つほど心の支えになるのは、応援や声援である。ぜひとも、勉強や



青木 順議員



▲目指せプロ野球選手

# 今後の町の展望は

## 町長 有効的な活動を図る

**問** 次世代、未来の子どもたちにより良い聖籠町を渡すためにも、先見の明を持ち政策展開しなくてはならない。税収の安定確保のためにも、東港を取り巻く企業誘致活動など、大きな動き、可能性があるのか。

**町長** 首都圏の企業、港湾関係者などに対し、新潟東港等背後工業地帯のポテンシャルや首都圏

直下型地震など、災害発生時のリスク分散という視点での認識を、徐々に理解を得ている。工場用地としては、ほぼ販売済みである。未利用地については、有効的な活動を図れるよう、努力していきたい。

# 無投票阻止に向けて

## 町長 答弁する立場にない

**問** 町始まって以来の無投票選挙であった。まだまだ、議会の活性化に取り組まなくてはならないと強く感じた。今後、もっと広く周知できるように、議会の活動をインターネットに動画配信することも考えられる。議会の活性化については、議会の内容を広く町民に知ってもらうことが必要であると考えている。今後こ

のような整備の予算化も必要と考えているかどうか。  
**町長** 議会の活性化のために議会の総意をもって設備等の予算要求をする場合は、議会の意向を尊重し、予算の対応については前向きな理解をしている。



## 所管議案を調査・審査

### 総務文教

9月15日、議員改選後初の委員会を開催し所管の議案を厳正に調査、請願1件を審査した。

調査議案の中では10月5日施行のマイナンバー制度に関して、活発な調査が行われた。そして「学費と教育条件の公私間格差是正にむけ、私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する請願1件を審査、その趣旨を認め全会一致で採択した。

また今後の先進地視察について、従来は教育に関する視察が多かったが、防災や行財政に焦点を当てた視察も増やすべきとの意見が上がり、今後の計画に組み込むことになった。

改選により本委員会では新たに2人の委員が選任された。新鮮な感覚を取り入れつつ、さまざまな視点から所管部署の調査・審査に取り組みたい。  
(文責 田中智之)

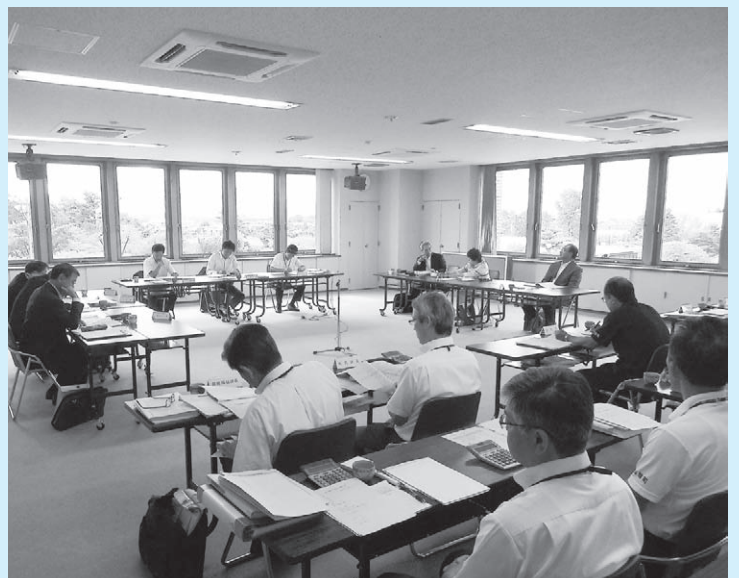
こんなことを

# 研修

## 報告

## 所管議案を調査・審査

### 厚生産業



9月14日、議員の改選後初の厚生産業常任委員会が開かれた。任期は4年である。

当委員会の所管は、福祉、保健、町道、都市計画、商工業、観光、上下水道、産業の振興、港湾対策である。

9月定例会に提出された議案のうち、所管の9議案を審議した。主な質問は、平成27年度の松くい虫被害について、県道杉谷内迫分線の町道認定

について等であった。

今後4年間、町民の期待に応えられるよう、委員会メンバー1丸となり、より円滑な委員会運営ができるよう、全力で取り組んでいく所存である。  
また、直接の声である請願、陳情も慎重審議したい。

(文責 青木 順)





## 読みやすい議会広報を目指す

### 広報広聴

9月8日、初めての委員会を開催した。9月議会広報の1回目の編集会議である。  
編集の流れを確認し、「議会だより112号」の各担当を決めた。  
改選前、当委員会は特別委員会であったが、議員全員で協議を重ね、議会広報対策特別委員会を常任委員会に格上げすることに決めた。改選後、正式名称は「広報広聴常任委員会」である。

常任委員会になったことで、これまでと同じく、そして、さらに町民に身近な「議会だより」を編集しなければならぬという気持ちで新たにしている。  
編集委員は、新人議員4人を含めた6人である。委員全員でスクラムを組んで読みやすい議会広報をつくりたい。

(文責 宮沢光子)

## 議会の活性化を目指す

### 議会運営

9月4日改選後初の委員会を開催し、9月10日から始まる第3回定例会の会期および議案の審議方法について、議長からの原案を基に審議した。  
先の8月23日執行の町議会議員一般選挙が無投票であったことで、議会が町民にとって遠い存在となっているのではないかとという危機感を持っている。

今後は、議長からの諮問事項や私ども議会運営委員会内で、議会の本会議のみならず本会議以外の委員会や議会全員協議会などのあり方について検討する必要性を感じている。  
特に議会運営委員会は、議員活動の内容について町民に知っていただく努力が大切であると同時に、議会活動の活性化に向け知恵を出し合い、未来を語り、できることから取り組んでいきたい。

(文責 田村富美男)

# あんなことや 調査 委員会



# お知らせ

～ information ～

## ☆ 議会を傍聴に きませんか

今回の定例会は、

**12月8日(火)**開催の予定です。

議会では、どんなことが議論されているのか。どんな計画があり、どう進んでいるのか。あなたに身近なことかもしれません。お気軽に傍聴においでください。

また、本会議のようすを「エフエムしばた」のラジオ放送やインターネットでも聞くことができます。

都合で議場には来られない方も、ぜひ放送に耳を傾けていただき、ご意見、ご要望などをお気軽に私たち議員にお寄せいただければ、と思っています。



## ★表紙の写真★

「心ひとつにオーエス！オーエス！  
(亀代こども園)」

10月3日、亀代こども園の運動会。年長・年中合同で力を合わせた綱引きに盛り上がりました。

### 発行責任者

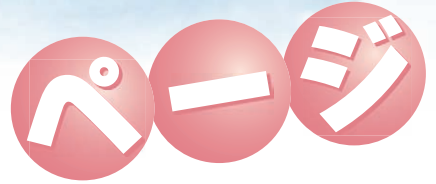
議長 須貝 龍夫

### 広報広聴常任委員会

委員長 宮沢 光子  
副委員長 小川 勝也  
委員 中村恵美子  
渡辺 豊  
長谷川六男  
宮沢さやか

# みんな

# の



## 聖籠町に嫁いで来た お嫁さん

### 浜パワー、スゴイ!!



ひらの りえこ  
平野 梨恵子 さん  
(次第浜)

**Q** どんなきっかけで彼と知り合いましたか？  
共通の知人を通して知り合いました。

**Q** 聖籠町に嫁いできてどんなイメージを持ちましたか？

海があり、緑も多く、のどかで、町民の方々は皆さんいい人ばかりでステキな町だと思います。

**Q** 町での生活はどうですか？(楽しい新婚生活のエピソードもあったらお聞かせください)

この夏に知人の方からバーベキューに誘っていただきました。浜パワー、スゴイ!!

楽しかったです(笑)。嫁いで来た時は、正直不安もありましたが、家族の方や周りの方々にとてもよくしてもらっているの、今は不安もなく、毎日楽しく過ごしています。

**Q** 町に望むことはありますか？

来年には病院もできますし、この先も不安がなく、安全で住みやすいステキな町にしていきたいと思います。

今回は、五泉市出身で平成27年8月に嫁いで来た平野梨恵子(旧姓 塩原)さんです。

皆さんよろしく願います。

皆さんもみんなのページ「聖籠町に嫁いで来たお嫁さん」に出てみませんか。対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。自薦・他薦は問いませんので、お気軽に役場議会事務局(TEL0254-27-1967)までご連絡ください。

9月26日、27日、長岡市で「第34回高齢社会をよくする女性の会全国大会」が開かれた。大会のテーマは「大介護時代を地域で生きる(安心と覚悟)」。

厚生労働事務次官 村木厚子さんの「超高齢社会をどう生きる？」と題した記念講演があり、厚生労働省のさまざまなデータを基に次の時代の介護を考えさせられた。

住み慣れた地域で高齢者が元気に暮らし続けることを、どう支援するのか、今後とも全国自治体の取り組みを注視していきたいと思う。

国の在り方を揺るがす安保保障関連法が参議院で可決した。普通には生きている人たちの平凡な毎日が脅かされないことを願うのみである。

今回の議会だよりは新メンバーの手で編集された。メンバー一同研さんを積み、町政の今を町民にしっかりと届けたい。

広報広聴常任委員会  
委員長 宮沢 光子

## 編集後記

聖籠町議会だよりは、資源保護のため再生紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。